



大内中だより

さつきの丘

【学校教育目標】

「あいさつ日本一を目指して」

令和5年11月16日 第31号

「本荘由利図工・美術の学び展」が開催されます

11月18日(土)～20日(月)に市文化交流館カダーレのギャラリー1・2・3で、「本荘由利図工・美術の学び展」が開催されます。授業等で制作された作品が一堂に会する展覧会で、時間は、9時～18時(最終日は15時)となります。

本校を代表して、3年生9名の作品が展示されますので、どうぞ足をお運びください。

- ・平面の部 ○○○○○さん ○○ ○さん ○○○○さん ○○○○○さん
 ○○○○○さん ○○○○さん ○○○○○さん ○○○○さん
 ○○○○○さん

由利本荘市中学校防火防災作文 入選作文の紹介

由利本荘市の防火防災作文に応募し、大中生3人の作文が入選しました。後日、市ホームページへの掲載が予定されていますが、一足先に本紙で紹介します。作文を読み進める中で、火災や自然災害への備え、人のつながりの大切さをあらためて考えさせられました。

噴火が起こった時に大切なこと

大内中学校 ○○ ○○



もし、身近なところで噴火が起こったらどうしますか。私は、噴火が起きたとしても備えがあれば少しは安心します。

日本は、活火山が多い国です。日本一高い山で有名な富士山や、秋田県と山形県をまたぐ鳥海山も活火山の一つです。

私が鹿児島県に家族で旅行に行ったとき、桜島に近い街は、道路のわきに火山灰が積もっていました。火山灰を見て、(昔、噴火が起こったことがあるんだ。噴火は本当に起こるんだ。)と実感しました。また、桜島を見ることが出来る展望台には、椅子の下にヘルメットが置かれていました。最初は、何に使うのか不思議に思っていたけれど、桜島の噴火から頭を守るためにあるのだ分かりました。桜島は、約百年ほど前に大噴火したことがあることも聞きました。その時、桜島の火口から少しけむりが出ているのが見えました。それを見て、今、噴火するのではないかと恐ろしくなり、パニックになったけれど、噴火は起こらず、本当に安心しました。

活火山は、いつ噴火するか分かりません。だから、地震が起きたときと同様に、備蓄品やひなん場所、ひなんする際の経路の確認などをしておくことが大切だと思います。そして、噴火が起こったときには、火山灰や岩石が降ってくる可能性があるのでヘルメットをして頭を守り、命を守るために冷静に行動したいと思います。

火事が教えてくれたこと

大内中学校 ○○ ○○

春休み初日、WBC決勝の開始を楽しみに待っていた。入社したはずの母が「火事だ」と叫ぶ声に驚き、外に出た。近所の工場から火が出ていて車を飲み込むようだった。僕は自宅に戻り、スマホで状況の撮影を始めた。その時、電柱の何かに火が燃え移り、大きな音で爆発して道路の向かいの家に火の粉が飛んだ。風の影響でその家も燃え始めた。消防や警察が到着し、あっという間に道路は封鎖され放水用のホースが道路を埋め尽くした。

この火事で僕は自宅の前に防火水槽、横断歩道の脇にホース格納箱という消火設備があることを知った。毎日通っていても気付かない消火設備がたくさんあり、町の安全に貢献していることが分かった。火を使う時は今まで以上に気をつけて使おうと思った一日だった。学校では定期的に火事を想定した避難訓練を行っていた。だから、瞬時に避難することができた。いつもは面倒くさいとか、何の役に立つのだろうとか思って参加していた避難訓練だったが、いざという時に役立つことが分かったので、これからはもっと真剣に取り組みたいと思った。



(裏面へ続く)

ところが、四月のある日、由利本荘市の広報と一緒に「お礼申し上げます」という町内の人たちへの一枚の手紙が届いた。それは、あの火事のもらい火で家を焼失した一人暮らしのおじいさんからの手紙だった。手紙には病院から退院して間もない火災だったことや、地域の人からの物資や見舞い金によって仮住まいが決まったことに対する感謝の気持ちが繰り返し、繰り返し書かれてあった。僕はこの手紙を読んで、災害には日々の人同士の助け合いや会話を通したコミュニケーションが大切だと実感した。防災設備や避難訓練も大事だが、僕は人とのつながりを一番に考えていきたい。

火事の恐ろしさ

大内中学校 ○○ ○○

その火事は、僕が朝食を取っているときに起こりました。外から破裂するようなパンという音が聞こえてきました。その後も続けて聞こえてきたので、花火でもやっているのかなと思いました。気になったので窓から見てみると、二軒隣の家が真っ赤に燃えているのが見えました。すぐに大切なものをまとめ、車の中に入れました。車を火が届かないような所まで動かした後は、火が広がるのを黙って見ているしかありませんでした。火が電線を伝って反対側に燃え移るのを見ました。気がつくやうに、近所の人たちはみんな家から出てきて、火の近くで写真や動画を取ったり、避難したのに家まで忘れ物を取りに行ったりする人もいました。

この火事で一番危なかったのは人の行動だと思います。自分の家の近くが燃えているのに、緊張感をもっている人は少なかったし、無表情でスマホを持っている人や消防の人に注意されている人もいて何か違和感を覚えました。そういう人たちは、火事から逃げてせつかく命が助かったのに、お金で買えるものを取りに行ってお金で買えない命を犠牲にしてしまうのだと感じました。僕は、そういう油断は絶対しないようにしようと思いました。

